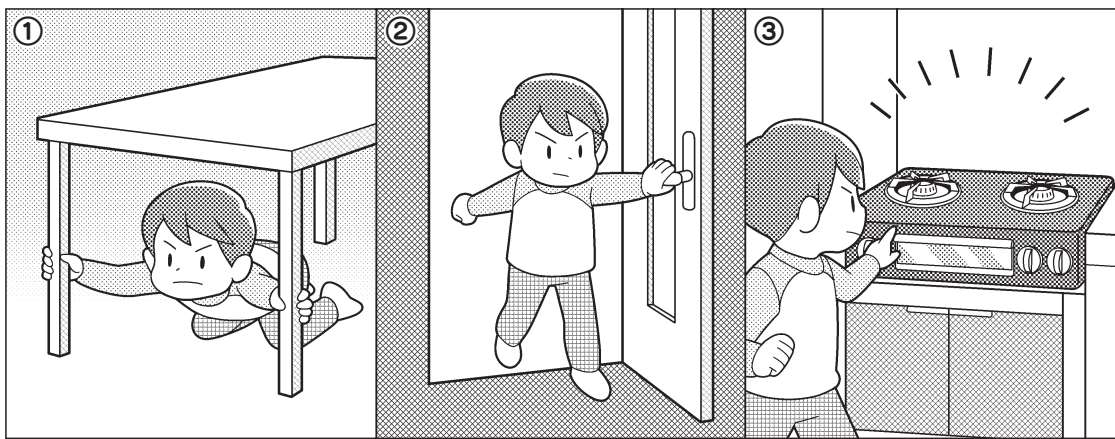


安全だより

災害時の停電に備える

9月に発生した北海道胆振東部地震では、北海道全域で停電が起きました。停電になると、電気、ガス、水道が使えなくなり、復旧に時間がかかる場合があります。津波、火災等の危険がない場合の在宅避難も想定して、対策をしておきましょう。

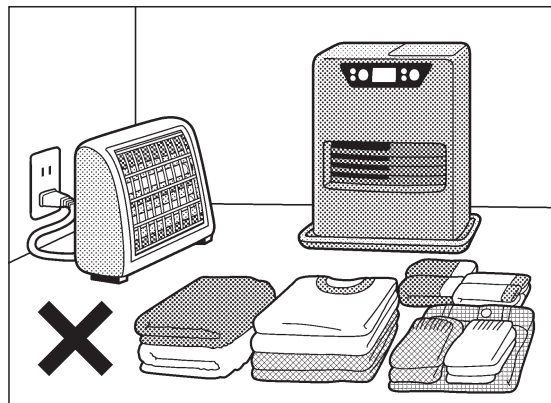
最優先で自分の身を守ろう



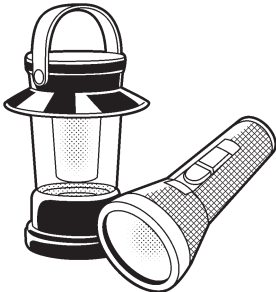



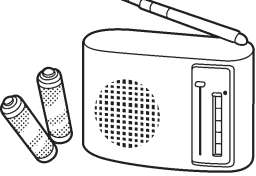
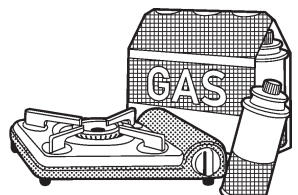
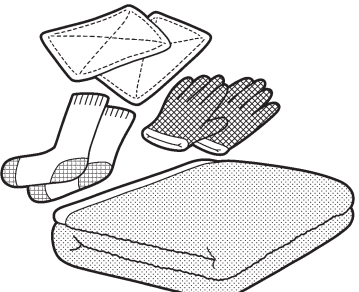
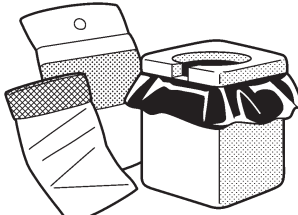
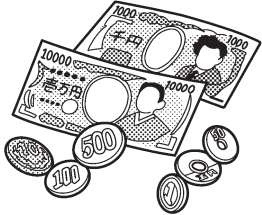
- ・物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所で、頭を守ります (①)。
- ・家にいる時は、揺れが収まってから、ドアを開けて避難経路を確保し (②)、火元を確認します (③)。その際に、散乱したガラスなどでけがをしないように、底の厚いスリッパと、停電時に備えて懐中電灯などの用意も必要です。
- ・家具類の転倒・落下・移動防止対策に見落としがないかを確認しておきましょう。
- ・保護者がすぐに帰宅できない場合などに備えて、日頃から地域の避難訓練に積極的に参加して、地域の特性を知っておきましょう。

火災を防ごう

地震による火災の主な出火元は、「電気器具」「ガス器具」「石油ストーブ」です。日頃から、器具のまわりに燃えやすいものを置かない、電化製品のそばに水槽や花瓶などを置かないなど、火災を防止する対策をとりましょう。通電火災を防ぐため、避難時にはブレーカーを落としましょう。


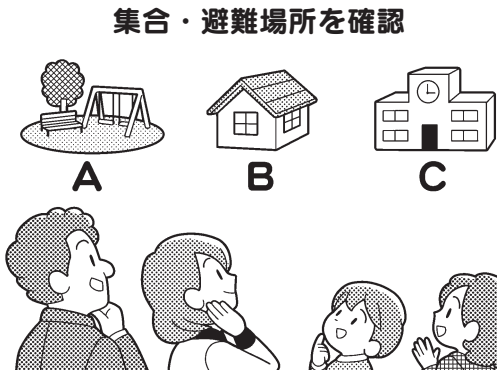


停電時に必要な備蓄を確認しよう

 ランタン・懐中電灯	 水	 加熱せずに食べられるもの
 電池式充電器	 ラジオ	 カセットコンロ・カセットボンベ
 防寒具	 簡易トイレ	 現金 (小銭もあると便利)

野菜ジュースや菓子類など、加熱せずに手軽に栄養を補給できるものを常備しておく、子どもが一人の時も安心です。このほか、常備薬など、各家庭で必要な備蓄を確認しておきましょう。

家族で決めておこう

 災害用伝言ダイヤル「171」	 集合・避難場所を確認
---	---

災害時に家族が離れ離れの時の安否確認の方法を、複数決めておきましょう。災害用伝言ダイヤル「171」は、毎月1日と15日などに体験日が設けられています。また、災害の種類や発生時間によって、段階ごとに優先順位をつけて、複数の集合・避難場所を事前に確認しておきましょう。

参考 「日常備蓄」で災害に備えよう」「防災ノート～災害と安全～」「東京防災」(東京都)、「そなえる ふくしまノート」(福島県)